

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-2  
自然とのふれあいの推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農産園芸課長 長野 正己

電話番号

0852-22-5123

事務事業の名称	花ふれあい公園事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	あらゆる世代が四季を通じて「島根の花」に親しみふれあえる暮らしを実現するため、花に興味をもつ機会を増やすとともに、花のPR及び花きの消費拡大を図る
事業概要	県民に対し、花きに親しむ機会の提供や普及PR・消費拡大の啓発等を行うため、花ふれあい公園「しまね花の郷」を管理運営する	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 入園者数	目標値		65,000.0	60,000.0	60,000.0	60,000.0	人
		取組目標値			65,000.0	65,000.0	65,000.0	
	式・定義 年間入園者数	実績値	63,421.0	60,285.0				
		達成率	-	92.8				%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	85,153	82,932
うち一般財源 (千円)	85,153	82,932

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・しまねの花振興品目を中心とした企画の充実、1年を通じて楽しめる植栽や展示、他の施設との連携等による集客を行った。
- ・入場者数は年次によって異なるが、気象の影響を大きく受けている。  
※屋外がメインな施設であるので、土日祝や連休に荒天が多い年は入場者数が少なくなる。
- ・28年度に策定した「島根県花き振興方針」にて花き文化振興の拠点として位置づけた。  
あらゆる世代が、四季を通じて、「島根の花」に親しみふれあえる暮らしの実現に向けた活動を進めていく必要がある。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・年間バスポート利用者が昨年に引き続き制度開始以来過去最高となり、長期運営に欠かせないファン獲得やリピート率向上に寄与した。
- ・島根の花情報発信(アシサイ「銀河」のフラワーオブサイヤー受賞)を含め、幅広い広報に努め、認知度の向上をはかった。
- ・異なる分野の企業体とのコラボレーション事業を実施した。  
例)サイクリングイベントの休憩ポイント 近隣施設との共同イベント など

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- ・施設の経年劣化による修繕必要箇所が増加している。
- ・年間バスポート利用者が増加している反面、出雲地域以外からの来場者が少ない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・修繕は長期保全計画により実施されるが、修繕箇所は増える傾向にあり、予算が追いついていない状況。
- ・集客数の増加に向けては、新企画やより効果的な広報を行い、認知度を向上させることが必要。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・予算確保による修繕の早期実施。
- ・花き文化振興拠点として、より多くの来場者に花の魅力を感じてもらえる企画の立案と実施。
- ・広報活動強化による県内広範なエリアへの情報提供。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・破壊および要修理箇所のごまめな情報提供による修繕の必要性共有と早期実施。
- ・観光協会や園域花き展示施設と連携したイベント開催やSNS等様々な手法を用いた広報活動の実施。
- ・出雲市朱鷺センターの朱鷺一般公開に向けた動きに呼応した集客向上対策の実施。